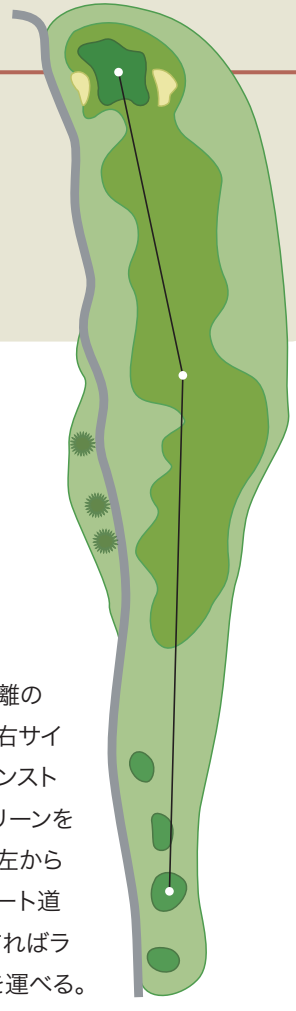
SOUTH 1 PAR 4

HANDICAP 6

- Black: 390
- Blue: 362
- White: 337
- Red: 291



【ティーショット】
ストレートで癖も少なく距離の短いパー4。フェアウエイ右サイドからは小山がありアゲインストの風も読みにくいので、グリーンを狙いにくくなる。概ね風は左から右へ吹いているので、左カート道方向からのフェードが打てればランも出て好位置にボールを運べる。

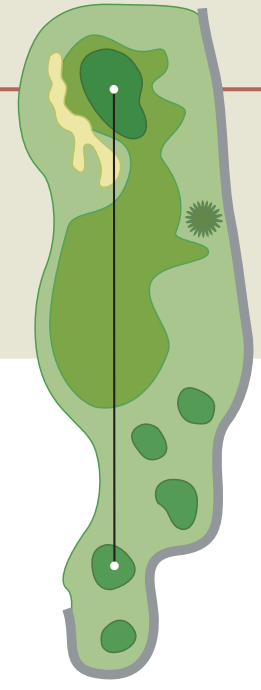
【セカンドショット】
左からのアゲインスト風の影響を受けやすくボールが右に行きやすくショートする傾向がある。左右のガードバンカーを避けて手前花道から攻めたい。

【グリーン】
全体に傾斜が強い受けグリーンなのでラインを多めに読む必要がある。上からオーバー、下からショートしないよう注意して、しっかりストロークしたい。

SOUTH 2 PAR 3

HANDICAP 5

- Black: 221
- Blue: 195
- White: 174
- Red: 134



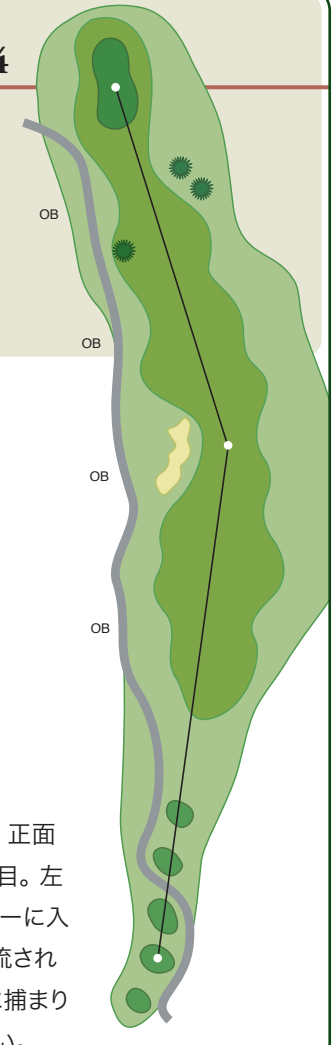
【ティーショット】
距離のあるショートホール。ロングアイアン、ショートウッド、ユーティリティの腕が試される。通常右から強めの風が吹いているので、左に行きやすくガードバンカーや奥のラフに捕まりやすいので注意が必要。狙い目は右方向で、花道から風に乗せてドローボールでグリーン・オンを狙っていきたい。

【グリーン】
全体に縦長の傾斜が強い受けグリーンで、左から右にも傾斜がある。ボールの転がりを明確にイメージしてからパッティングストロークしたい。

SOUTH 3 PAR 4

HANDICAP 2

- Black: 404
- Blue: 387
- White: 369
- Red: 323



【ティーショット】
距離のあるミドルホール。正面に見える煙突方向が狙い目。左にあるフェアウェイバンカーに入れないことが肝心。風に流されると左サイドの深いラフに捕まり距離も残るので注意したい。

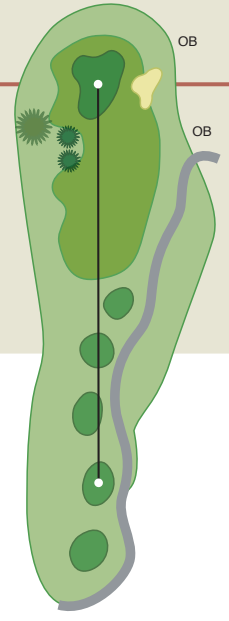
【セカンドショット】
左からの風に流されやすくショートもしやすいので大きめのクラブで左方向から狙うのが望ましい。

【グリーン】
全体に縦長の受けグリーン。微妙なアンジュレーションと芝目が入り組んでいるのでラインを読みにくい。直感を信じて打つのも一案。

SOUTH 4 PAR 3

HANDICAP 7

- Black: 191
- Blue: 166
- White: 135
- Red: 91

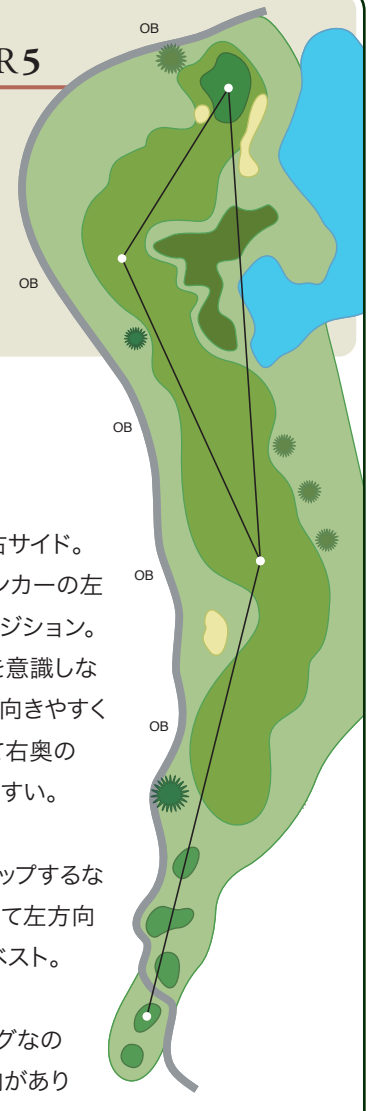


【ティーショット】
2番に続き比較的距離のあるショートホール。
通常吹いている左からの風を意識して左右にぶれないショットが必要。右に吹けるとガードバンカー、OBゾーンがあり、左には2本のヤシの木がありボールの行く手を遮っており、ラフにはずすと寄せにくい。
縦方向にブレて手前にショートしてもスコアは乱れにくいが、左右にブレるとスコアメイクが難しくなる。
【グリーン】
全体にやや砲台の受けグリーン。奥から手前にかけて傾斜が強く芝目も順目で早い。
左右からは大きく曲がるラインになるのでパッティングも気が抜けない。

SOUTH 5 PAR 5

HANDICAP 9

- Black: 525
- Blue: 507
- White: 500
- Red: 430



【ティーショット】
狙い目はバンカーの右サイド。
飛距離の出る人はバンカーの左端から狙うとベストポジション。
左からせり出す木立を意識しないのがポイント。右を向きやすく左からの風に流されて右奥のブッシュ方向に行きやすい。
【セカンドショット】
2オンも可能。レイアップするなら右の池とラフを避けて左方向にある平らな場所がベスト。
【サードショット】
極端なS字ドッグレッグなので、オーバーする傾向があり
グリーンまでの距離に注意が必要。左右のバンカーも入れると寄せにくいので、花道を使ってグリーンを確実に捕らえたい。
【グリーン】
デッキ形状の受けグリーンで、アンジュレーションが微妙。カップの位置によっては複雑なラインになる。

SOUTH 6 PAR 4

HANDICAP 1

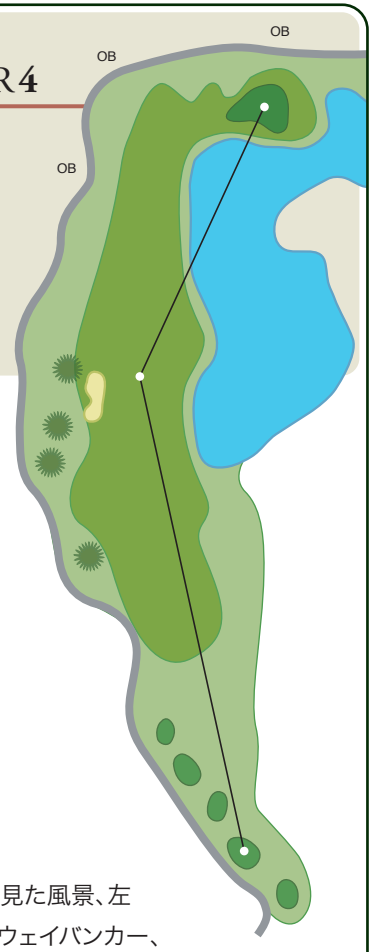
- Black: 446
- Blue: 424
- White: 391
- Red: 337

【ティーショット】
距離のある難しいパー4。
通常風は右からのややアゲインスト風。池(ラテラルウォーターハザード)の左右どちらのフェアウエイに運ぶのかを決めてショットに臨みたい。
【セカンドショット】
たっぷり距離が残るので無理をせず確実に3オンを狙う判断も必要。右の花道から風に乗せてドローボールが理想。手前ガードバンカーは深く寄せにくいので入れないよう注意が必要。
【グリーン】
高低差のある2段グリーン。アンジュレーションと芝目が複雑なラインを形成している。迷った時は、力を抜いてパッティングを楽しむのも一案。

SOUTH 7 PAR 4

HANDICAP 4

- Black: 402
- Blue: 380
- White: 356
- Red: 315



【ティーショット】
ティーグラウンドから見た風景、左からの風、左のフェアウェイバンカー、フェアウエイの右傾斜など全てが大きな池の存在をより強調してゴルファーの勇気を試している。狙い目は迷わずフェアウェイバンカー右方向。

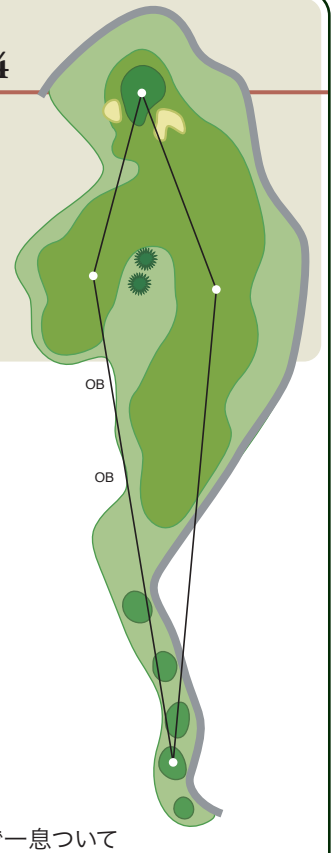
【セカンドショット】
奥に大きくオーバーする傾向があるので、グリーンまでの距離に要注意。手前の池を恐れず果敢に攻めたい。状況によっては左手前レイアップもよいであろう。

【グリーン】
傾斜が非常に強い受けグリーン。芝目も池に向かって順目なので上手く打ちたい。

SOUTH 8 PAR 4

HANDICAP 8

- Black: 358
- Blue: 340
- White: 316
- Red: 262



【ティーショット】
落下地点は大変広いので一息ついて楽にショットできる短いミドルホール。通常右から緩やかな風が吹いている。中央のラフを避けて左右のフェアウエイの2ルートがある。

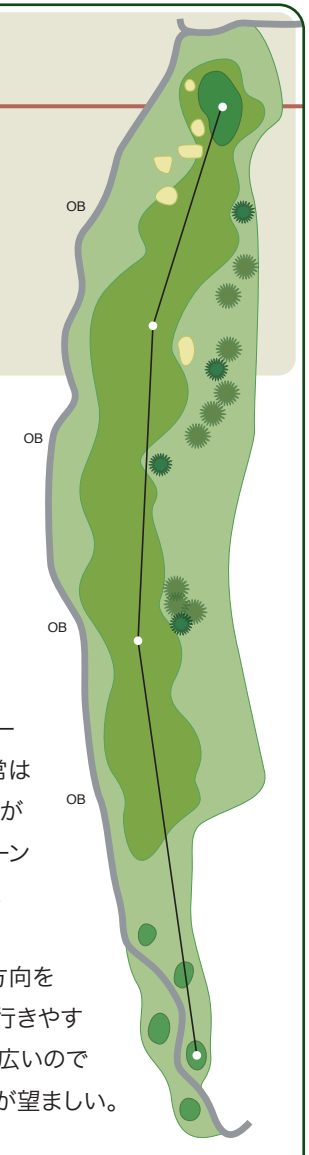
【セカンドショット】
見た目と風の状況により距離を合わせにくいので番手選びを慎重にしたい。ショートして手前の深いガードバンカーに捕まると難易度が高いので要注意。左の花道を使って攻めるか、しっかりとグリーンセンターをデッドに狙うかは2打地点の状況で判断。

【グリーン】
クセの少ない全体になだらかな受けグリーンで、リラックスしてストロークすれば良い結果も期待できる。

SOUTH 9 PAR 5

HANDICAP 3

- Black: 544
- Blue: 524
- White: 471
- Red: 450



【ティーショット】
左にグリーンまで続くOBゾーンがあるロングホール。通常は右からのややアゲインスト風が吹いているので、左のOBゾーンに行かないよう注意が必要。

【セカンドショット】
目標が見えにくいので打つ方向を正確に決めないと左方向に行きやすい。フェアウエイ右サイドは広いので右のバンカー方向へ打つのが望ましい。

【サードショット】
左サイドに密集しているバンカーを避けて、右の花道から低いドローボールが打てれば理想。

【グリーン】
奥から手前になだらかで強い傾斜がある。左から右にも微妙な傾斜があるので加味してストロークしたい。